



諏訪湖通信65号



令和5年11月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議

(株) テンホウ・フーズ 様から 諏訪湖創生に対するご寄附をいただきました

(株)テンホウ・フーズ様から「諏訪湖の日プロジェクト」の企画として、「諏訪湖の日＝10月1日」の諏訪湖周7店舗の売り上げの一部をご寄附いただけることになり、10月24日(火)に贈呈式を行いました。

贈呈式で、(株)テンホウ・フーズ 代表取締役社長 大石 壮太郎様からは、「昔のように夏になれば子供たちが湖に飛び込むなど楽しく遊ぶ様子が日常的に見られる、まさに泳ぎたくなる諏訪湖になってほしい。」とお話があり、諏訪湖に対する熱い思いが伝わってきました。

これに対して、宮原諏訪地域振興局長から感謝状を贈呈させていただきました。

いただいた寄附金は、諏訪湖の環境改善のために役立ててほしいとの思いを大切にしながら、来年度の諏訪湖創生ビジョンに関する取組に活用させていただく予定です。



(感謝状を手にする大石社長(左)と宮原諏訪地域振興局長(右))

諏訪地区森林(もり)づくりの集いを開催しました (諏訪地域振興局林務課)

森林への関わりや利用を一層推進し、森林の育成の大切さを広く普及することを目的に、10月14日(土)、下諏訪町のいずみ湖に隣接する下諏訪町有林において、令和5年度諏訪地区森林づくりの集いを開催しました。雨が心配されましたが、集いを行った午前中には晴れ間も見え、穏やかな陽気の中で実施することができました。



(式典の様子)

諏訪地域の森林・林業関係団体、小学校の緑の少年団の団員などおよそ140人の皆さんに参加いただき、町有林内のヒノキの枝打ちを行いました。

式典・枝打ちの方法の説明を聞いた後、各自ヘルメットを着用し、腰にノコギリを下げて林内に入り枝打ちを行いました。それぞれのペースで、心地よい汗をかきながらの充実した作業となりました。

森林はこの地域の多様な生態系を支えるとともに水を貯え、洪水を緩和し、土壌や植物による水質浄化機能を有するなど重要な役割を果たしています。そして森林の恵みは

諏訪湖も含め私たちの暮らしに結びついています。森林に触れる機会があれば皆さんもぜひ参加してみてください!



(参加者による枝打ち作業の様子)

雲外蒼天への道～諏訪湖ビューティー大作戦～ (諏訪圏青年会議所 2023年度雲外蒼天委員会)

諏訪圏青年会議所では諏訪湖をテーマに「雲外蒼天への道～諏訪湖ビューティー大作戦～」を第1弾・第2弾の全2回開催しました。このイベントは「コミュニティデザイン」という手法を参考に企画し、地域の課題や問題点、これからの地域発展について地域住民が積極的に参加し、自ら考えることにより、自分たちはどんな行動をしていけばいいのかを考える機会を創出すること、いわゆる住民自らが「地域をデザインする」きっかけづくりを目的としました。

○第1弾 令和5年5月14日 場所: 諏訪湖ハイツ

第1弾では、諏訪湖クラブ会長の沖野外輝夫先生による諏訪湖周の基礎知識や歴史などについてご講演いただきました。また参加者53名が実際に諏訪湖に足を運び、釜口水門、赤砂崎公園、石彫公園の3か所からの解説を聞きながら諏訪湖に対する理解を深めました。現地ではリアルタイムで見つかる問題点や課題について、専門家の意見を交えながら自分達の考えを共有しました。その後のワークショップでも活発な意見交換がなされ、個人では気付かなかった視点の共有や課題解決に向けた取組手法について考えました。

第1弾を振り返る中で、諏訪湖の水は水質調査結果を踏まえると”きれいになっている”にもかかわらず、諏訪湖の水に対する嫌悪感を持っている人が多く、現状諏訪湖を活用していく機会があまりないことに着目しました。



(沖野先生による講演の様子)

○第2弾 令和5年9月24日 場所: 赤砂崎公園

「諏訪湖の水に触れ合い、自ら体験して、知る・感じる」ことを目的に第2弾を開催しました。これからの諏訪湖の利活用を念頭に置き、4つのセクション(ゴミ拾い、諏訪湖の水のろ過、水鉄砲体験、テントサウナ)を用意しました。参加者50名は自分で体験するセクションを選びました。その後、セクション体験談を共有するためみんなで意見交換を行いました。想像ではなく実体験に基づくリアルな感想・意見が多く、中には体験を通して「諏訪湖の水に対するイメージがよくなった」という声も聞かれました。水と触れ合うことで、諏訪湖の新しい発見や、利活用を考えるきっかけになったと思います。

第1弾・第2弾の全2回を通して、実際に調査し、みんなで考え、それをやってみるという行動を起こすことで諏訪湖の利活用に向けた第一歩を踏み出すきっかけづくりができたと感じています。



(参加者が諏訪湖に触れ合う様子)

まだまだ利活用できる諏訪湖を地域のこれからの課題と認識し、少しでも地域のことを新しい視野で考えていくことが重要です。そして活動していく中で地域の問題点や課題をいち早く見抜いていく人材が増えていくことが、諏訪湖のみならずこの諏訪圏が発展していく一助になると思います。

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901